高知の未来の授業を創る推進プロジェクトにおける

国語科授業づくり講座 ≪授業研究会≫

第２回

高知市立横内小学校・第４学年
令和元年６月 18 日（火）実施

公開授業の案内や申し込み・レポートは，
高知市教育委員会　学校教育課のＨＰをご参照ください。

発行　令和元年６月 28 日（金）
高知市教育委員会
学校教育課　学力向上推進室

高知の未来の授業を創る推進プロジェクトにおける「国語科授業づくり講座」が，本年度よりスタートしています。来年度から全面実施される学習指導要領の趣旨理解や改訂のポイントに沿った具体的な授業づくりについて，移行期間最終年度である本年度中に理解を深め準備を整えながら，日々の授業改善に役立てようというものです。「国語科授業づくり講座」は，県下５校（横内小学校・蓮池小学校・宿毛小学校・大方中学校・鏡野中学校）において，合計 20 回開催されます。

高知市では，**横内小学校が拠点校となり，４回の提案**を行います。提案は，「教材研究会」と「授業研究会」がセットになっており，一つの教材を通して，「教材研究の仕方」から「授業づくりのプロセス」，実際の「授業の指導の工夫」や「授業コントロールの技」等を，提案者と参会者が一緒になって学び合うことができる仕組みになっています。今回は，**横内小学校での第２回目の提案となる「授業研究会」**の様子を紹介します。

横内小学校の３つの挑戦！
―「主体的に学ぶ」子どもたちを育てるための提案―

【提案授業】　小学校第４学年　単元名：目指せ　メモマスター！　～３年生にわかりやすく伝えよう～
教材名：「メモの取り方をくふうして聞こう」（東京書籍　４年上）

◆　**講師：松永立志（まつなが たてし）先生（前鎌倉女子大学　准教授）による指導・助言**
※　横浜市教育委員会において指導第一課長，教育課程開発課長，学校教育部長を歴任，二度の学習指導要領改訂や教科書の編集に関わってこられました。

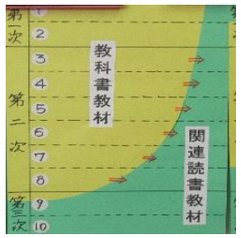
で示しています。

提案１

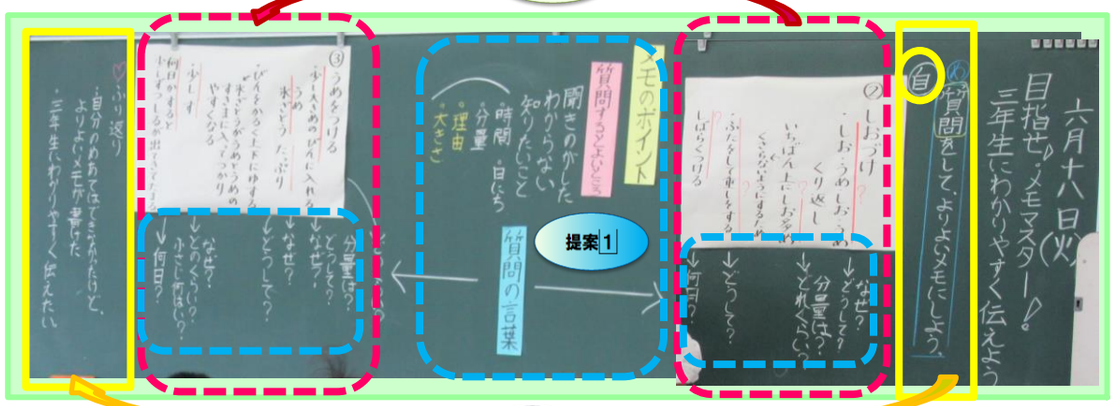
≪「言葉による見方・考え方」の明確化≫
○　メモした事柄・質問したいこと・実際に質問する時に使う言葉をそれぞれ関連付け明示することにより子どもたちの「言葉による見方・考え方」が働くようにしたい。

提案２

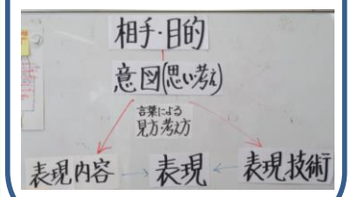
≪「わかる」から「できる」へ≫
○　１時間の前半で，教科書教材を使って，質問をするとよいところや具体的な質問の仕方をつかむ＝「わかる（理解する）」。後半で，自作教材を使って，わかったことを使う＝「できる（表現する）」ことで，使いこなすことができる言葉の力を育てたい。

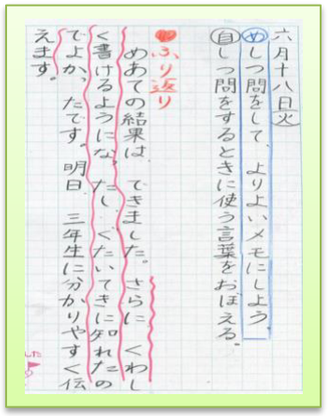


上の図のような，教科書教材と自作教材を行き来する単元構成だった。「わかる」と「できる」をつなぐものが多く明確で，習ったらすぐに活用できるというよさがある。



「言葉による見方・考え方」は，**伝えたい意図（考えや思い）**があって初めて働くものである。だからこそ，相手意識・目的意識が明確な**「言語活動」を通して指導**することが大切！





提案３

≪子どもたち一人一人が「自分のめあて」をもつ≫
○　これからの授業において，学級全体の課題を自分ごととして解決していくためには，さらに，一人一人が「自分のめあて」をもつことが必要である。本単元で初めて，一人一人が「自分のめあて」を立て，そのめあてに対して「振り返り」をするということに取り組みたい。

子どもたち自身が，自分ががんばりたいことや挑戦したいことを決め，自分の学びをつくる。そして，その学びを自分自身で振り返り，次へつながるように，再度つくり直していく。このように，**学習のサイクルを回すことができる力（自己調整力）**を子どもたちに育てたい。

私たち授業者の自己調整力も育てよう！
高知の「学び場」へ集まれ！

授業者の振り返り

目的意識・相手意識の明確な言語活動を毎時間通すこと，一人一人に自分のめあてをもたせること，「わかる」で終わらず「できる」まで言葉を使って表現することなどを，単元を通して意識し続けることが大切だと実感できた。

これからも，子どもたちとやり取りをしながら授業を創り，意欲的・主体的に学ぶ姿を大切にして，言葉の力が育つ授業ができるように，自分自身が学んでいきたい。

横内小学校
黒田恭平　教諭

参会者の声

✿　授業者の子どもたちへの「言葉への自覚を高める」（見方・考え方を鍛える）働きかけが随所に見られた。見方・考え方を鍛えるためには，授業者自身が，言葉への自覚・働きかけの理解を深めなければならない。子どもたち一人一人が，自分のめあてをもつことにも取り組んでみたい。

✿　「話す・聞く」領域の授業で，かつ「わかる（理解）」から「できる（表現）」を１時間のなかで行き来することを取り入れた授業を初めて見て勉強になった。そんな授業だからこそ，子どもたちが主体的に学び，どの子も「できる（表現する）」喜びを実感できていたと思う。

今後の予定

【これからの国語科授業づくり講座】
○第３回　10 月　２日（水）【教材研究会】
○第４回　10 月 30 日（水）【授業研究会】
☆５年生が「書くこと」の単元を提案する予定です。